

所属ゼミ	高木晴夫研究会	学籍番号	80530753	氏名	西田 昌功
(論文題名)					
<b>ステップアップ型経営者を目指すキャリア戦略</b>					
(内容の要旨)					
<p>近年、企業経営を取り巻く環境は大きく激変している。同時に環境変化のスピードも過去に例を見ない程に急速化しており、企業もその環境変化への対応を迫られている。</p> <p>また、最近では安定とされていた大企業や金融機関が相次いで破綻に追い込まれることや吸収合併を迫られるなど従来の大企業イコール安定といった方程式も通じなくなってきた。</p> <p>このように、環境変化のスピードがかつてない程急速に早くなっている中では、企業は柔軟に事業運営を行い、社会的な存在としての活動を継続しなければならない。その結果としての責務を負っているのが企業経営者である。これらの激しい環境変化の中で企業業績や企業価値といった指標に大きな差異が出てくるのは、企業経営者の手腕によるところが大きいと考えられる。</p> <p>その中で、良い経営者が生まれるプロセスや環境、キャリアにも大きな変化があり、しかもそのプロセスの過程も従来の1つや2つの枠だけでは括れなくなっている。その様々な過程の中で経営者が生まれる中で、近年一つの企業だけで就業するだけでなく、複数の企業での就業経験を通じキャリアアップを実現し、最終的に経営者として企業運営を行っているケース（ステップアップ型経営者）が数多く散見される。</p> <p>そこで、私自身がこの慶應ビジネススクールを卒業し、今後継続的なキャリアアップを実現することで、最終的には経営者を目指していることから、どのような背景や要因、環境で就業することによりステップアップ型経営者になることが有効なのかを調査したものが本論文である。</p> <p>研究としては、数多くの代表的なステップアップ型経営者の事例から共通経験や共通スキルを抽出することでステップアップ型経営者になるために必要とされる経験やスキルの仮説導出作業を行った。その仮説をもとにインタビューを実施した。インタビュー対象者として、実際のステップアップ型経営者及び各ステップアップの段階でキャリアアップの過程にある人にもインタビューを実施することで、ステップアップ型経営者に至る過程で留意すべきポイントや意識する点などを明確にした。</p> <p>研究の結果、ステップアップ型経営者になるために必要とされる経験やスキルというよりは、以下のようなビジネスパーソンとしての生き方や日頃の仕事に対する心構えが重要であることがわかった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目の前の仕事や与えられた Mission に対して愚直に取り組み、確実に成果を出し続けること</li> <li>・仕事のえり好みをしていない。全ての仕事で意味や意義を感じる</li> <li>・ゼロから1を作り出す経験をする</li> <li>・人がやりたがらない仕事や人が避ける仕事に取って代わり取り組むこと</li> <li>・経営者になるために、転職を重ねるのではなく、常に外部市場から請われる人材になること</li> <li>・修羅場を数多く経験すること</li> <li>・自分の尊敬するメンターを持つこと</li> <li>・MBA は必要不可欠の資格ではなく、その知識をどう使うかが重要であること</li> <li>・リスクを取ることを、リスクと思わないこと</li> </ul> <p>その上で筆者はステップアップ型経営者を目指すビジネスパーソンやビジネススクールの学生へ提言を行っている。</p>					